

日本文化人類学会第 45 回研究大会プログラム

日時：2011 年 6 月 11 日（土）・12 日（日）

於：法政大学市ヶ谷キャンパス

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学 国際文化学部

日本文化人類学会第 45 回研究大会準備委員会事務局

<http://www.jasca.org/meeting/45th>

email: 45nbj@jasca.org

全体スケジュール

6月11日(土曜日)

- 08:15 受付開始(58年館エレベータホール付近)
- 09:00 研究発表午前の部開始(55年館・58年館 A会場～H会場)
- 09:00 総務会、理事会、評議員会 ～13:00
- 12:55 研究発表午前の部終了
- 12:55 昼休み ～14:00 ボアソナードタワーB1 フォレストガーデンをご利用ください。
- 13:30 受付・本部移動、外濠校舎 3F へ
- 14:00 総会(外濠校舎 6F/7F 薩埵ホール*) ～15:15
- 15:30 研究発表午後の部開始(外濠校舎 I会場～L会場)
- 17:30 研究発表午後の部終了
- 18:00 懇親会(外濠校舎 6F 薩埵ホール*) ～20:00

*確定しました。

6月12日(日曜日)

- 08:30 受付開始(外濠校舎 3F ピロティ)
- 09:00 研究発表午前の部開始(外濠校舎・富士見坂校舎 I,J,K,L,M,N,O,Q,R会場)
- 10:00 映像作品上映午前の部開始(外濠校舎 P会場)
- 11:55 研究発表午前の部終了、映像作品上映午前の部終了
- 11:55 昼休み ～13:00 ボアソナードタワーB1 フォレストガーデンをご利用ください。
- 13:00 日本文化人類学会賞・同奨励賞授賞式および学会賞受賞者講演(外濠校舎 P会場) ～14:00
- 14:15 研究発表午後の部開始(外濠校舎・富士見坂校舎 I,J,K,L,M,N,O,Q,R会場)
- 14:30 映像作品上映午後の部開始(外濠校舎 P会場)
- 16:30 映像作品上映午後の部終了
- 16:40 研究発表午後の部終了
- 18:00 片付け終了、学外へ

※ なお、研究大会に先立つ10日17:00～19:00に日本文化人類学会 第45回研究大会 記念シンポジウムが開催されます。このシンポジウムの詳細は、本プログラム13pをご覧ください。

研究発表(分科会発表の部)

分科会発表A 11日午前10:00～12:55 A会場(55年館571番教室)

趣旨説明 上杉妙子(専修大学(兼任講師))

「軍隊がつくる社会、社会がつくる軍隊：トランスナショナルとナショナル、ローカルの接合と再定義」

発表 SA1 福浦厚子(滋賀大学)

「コンバット・ストレスのマネジメント：トランスナショナルな視点とローカルな視点からみた自衛隊」

発表 SA2 金柄徹(亜細亜大学)

「『聖なる義務』の行方：『兵役問題』からみる韓国社会の現在」

発表 SA3 森田真也(筑紫女学園大学文学部)

「占領という名の異文化接合：戦後沖縄における米軍の社会教育政策と琉米文化会館の活動」

発表 SA4 **エイムズ クリストファー** (メリーランド大学 ユニバーシティカレッジ)
「コンタクト・ゾーンとしての「アメラジアンスクール・イン・オキナワ」：多文化共生社会への課題」

発表 SA5 **上杉妙子** (専修大学 (兼任講師))
「移民退役軍人と軍隊、市民社会：英国陸軍・退役グルカ兵の団体についての分析」
コメンテータ：田中雅一 (京都大学)、河野仁 (防衛大学校)」

分科会発表 B 11 日午前 10:30~12:55 B 会場 (55 年館 572 教室)

趣旨説明 **大川真由子** (東京外国語大学)
「帰還移民の人類学的研究に向けて：帰還および故郷概念の検討」

発表 SB1 **奈倉京子** (静岡県立大学)
「流動する「故郷」認識：東南アジアからの帰国華僑と「帰国華僑の家」

発表 SB2 **市川哲** (立教大学 AIIC)
「祖先の故郷、生まれの故郷：オーストラリア在住パプアニューギニア華人の帰郷経験」

発表 SB3 **飯島真里子** (上智大学)
「「戦略」としての故郷：フィリピン日系人の帰還と国籍取得」

発表 SB4 **大川真由子** (東京外国語大学)
「ザンジバルは植民地だったのか：アフリカ系オマーン人の帰還と歴史認識」
コメンテータ：和崎春日 (中部大学)

分科会発表 E 11 日午前 10:30~12:55 E 会場 (55 年館 561 番教室)

趣旨説明 **杉山祐子** (弘前大学人文学部)
「知の生成する現場：「動き」としての在来知を描く」

発表 SE1 **曾我亨** (弘前大学)
「「動き」が在来知を生成する：状況論的アプローチによる記述の試み」

発表 SE2 **金子守恵** (京都大学)
「動きからスタイルへ：エチオピアの女性土器職人の指使いと土器づくり」

発表 SE3 **佐治靖** (福島県立博物館)
「転飼養蜂：日本的「遊動」の一形態」

発表 SE4 **竹川大介** (北九州市立大学)
「「意志」を持つもの：在来知：擬人化による相互行為」
コメンテータ：野村雅一 (総合研究大学院大学)、大村敬一 (大阪大学)

分科会発表 Ia 12 日午前 9:00~11:55 I 会場 (外濠校舎 S505 番教室)

趣旨説明 **亀井伸孝** (愛知県立大学)
「支援のフィールドワーク：「研究／実践」の二分法を超えて」

発表 SIa1 **清末愛砂** (島根大学)
「聞き取ってしまったものの責任を支援につなげる：占領下のパレスチナにおける非暴力運動にかかわって」

発表 SIa2 **飯嶋秀治** (九州大学大学院)
「「暴力」に直面した時：理解と抑止の狭間で」

発表 SIa3 **小國和子** (日本福祉大学)
「「支援」を日常実践に近づける：カンボジアにおける農村開発現場の事例から」

発表 SIa4 **浅野史代** (京都大学アフリカ地域研究資料センター)
「ねたみの構造と支援の関係：ブルキナファソ農村の女性グループの事例から」

発表 SIa5 **清水展**（京都大学東南アジア研究所）
「成り行き、巻き込まれ、コミットメント：ピナトゥボとイフガオの経験から」

分科会発表 Ja 12日午前9:00～11:55 J会場（外濠校舎 S405 番教室）

趣旨説明 **田川玄**（広島市立大学）

「人間と動物の駆け引き」

発表 SJa1 **吉田匡興**（桜美林大学）

「クスクスを狩る経験：パプアニューギニア一山地民の動物経験の一断面とその文化的・社会的意味」

発表 SJa2 **西本太**（総合地球環境学研究所）

「いたぶる快楽：ラオス山地民カントウのスイギュウの殺害」

発表 SJa3 **花渕馨也**（北海道医療大学）

「牛を屠り、牛と遊び、妖怪牛にとり憑かれる：コモロ社会における動物と人間との関係性について」

発表 SJa4 **奥野克巳**（桜美林大学）

「人と動物、まみえず」

発表 SJa5 **池田光穂**（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター）

「反逆する自然、癒される自然：現代日本における生物多様性概念の社会化について」
コメンテータ：**内堀基光**（放送大学）

分科会発表 Ma 12日午前9:00～11:55 M会場（外濠校舎 S305 番教室）

趣旨説明 **上水流久彦**（県立広島大学）

「越境経験の資源化・歴史化：日本の周辺地域における国境変動をめぐって」

発表 SMa1 **西村一之**（日本女子大学）

「移動・移住の経験と実践：東シナ海国境海域をゆきかう漁民たち」

発表 SMa2 **宮岡真央子**（福岡大学）

「歴史事件の再解釈と資源化：台湾原住民族パイワンによる「牡丹社事件」をめぐる交渉」

発表 SMa3 **村上和弘**（愛媛大学）

「近現代対馬における「越境」の記憶とその利用：交通と他者表象をめぐって」

発表 SMa4 **中村八重**（韓国外国語大学校）

「韓国人観光客の対馬認識：観光動機とナショナリズムをめぐって」

発表 SMa5 **越智郁乃**（広島大学）

「更新されないイメージ：八重山における「観光旅行」を通じた台湾認識の変遷」
コメンテータ：**渋谷 努**（中京大学）、**森田真也**（筑紫女学園大学）

分科会発表 Ib 12日午後14:15～16:40 I会場（外濠校舎 S505 番教室）

趣旨説明 **山口徹**（慶應義塾大学文学部）

「オセアニア環礁州島の景観史：文理融合型研究の成果」

発表 SIb1 **山口徹**（慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室）

中田聡史（京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻）

茅根創（東京大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻）

「環礁州島の『起伏』のジオアーケオロジー」

発表 SIb2 **吉田俊爾**（日本歯科大学生命歯学部）

「環礁州島の先史時代人骨にみるサンゴカルシウムの影響：サンゴカルシウムの陸生食物資源を媒体とした身体への循環」

- 発表 SIb3 棚橋訓 (お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科)
「環礁支配の景観史：マジュロ環礁とブカプカ環礁の植民地開発と環境改変をめぐる考察」
- 発表 SIb4 深山直子 (東京経済大学)
山野博哉 (国立環境研究所)
「つくられた脆弱性：ツバル・フォンガファレ島における文理融合型研究の試み」
コメンテータ：風間計博 (筑波大学)

分科会発表 Jb 12 日午後 14:15～16:40 J 会場 (外濠校舎 S405 番教室)

- 趣旨説明 桑山敬己 (北海道大学大学院文学研究科)
「文化人類学的日本研究の方法論の開発：「日本人」がどのように日本を調査して日本語で語るか」
- 発表 SJb1 中西裕二 (立教大学観光学部)
「大学学部教育における「日本研究」とその問題点」
- 発表 SJb2 桑山敬己 (北海道大学大学院文学研究科)
「何がフィールドで変わったのか：岡山市の新池 (Niiike) 集落における過去 27 年の出来事」
- 発表 SJb3 山崎幸治 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター)
「文化人類学的日本研究とアイヌ：北海道での実践から見えてくる課題」
- 発表 SJb4 李仁子 (東北大学)
「文化人類学的日本研究の諸要件：異文化に暮らす自文化研究者による一試論」
コメンテータ：岡田浩樹 (神戸大学)

分科会発表 Mb 12 日午後 14:15～16:40 M 会場 (外濠校舎 S305 番教室)

- 趣旨説明 内藤直樹 (国立民族学博物館)
「＜アサイラム／アジール空間＞の人類学：グローバリゼーション、国家、社会的排除／包摂」
- 発表 SMb1 内藤直樹 (国立民族学博物館)
「社会の「外部」に生きる：ケニア・ダダブ難民キャンプにおける長期化難民の生活実践」
- 発表 SMb2 丸山淳子 (津田塾大学)
「少数者の生きる場：南部アフリカにおける再定住地を拠点としたサンの社会再編」
- 発表 SMb3 山北輝裕 (日本大学)
「アサイラム空間と都市下層」
- 発表 SMb4 岩佐光広 (国立民族学博物館)
「「難民」から「外国人」へ：日本における第三国定住者をめぐる包摂と排除の諸相」
コメンテータ：飯嶋秀治 (九州大学)

研究発表 (個人発表の部)

11 日午前の部 B 会場 (55 年館 572 番教室)

- 09:00～ B01 脇田道子 (慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程)
「民族衣装のポリティクス：インド、アルナーチャル＝プラデーシュのモンパの事例から」
- 09:30～ B02 伊藤渚 (総合研究大学院大学)
「ラオスの民族衣装」の成立と現在：グローバリゼーション下におけるナショナルアイデンティティと手工芸の役割をめぐって」
- 10:00～ B03 宮脇千絵 (総合研究大学院大学)
「民族衣装の継承と変化：中国雲南省ミャオ/モン族女性の婚姻とサブ・グループとしての衣装のゆくえ」

11 日午前の部 C 会場 (58 年館 878B 番教室)

- 09:00～ C01 尾崎孝宏 (鹿児島大学法文学部)
「制度実践の民族誌的記述の試み：内モンゴル牧畜社会における「禁牧」政策の事例より」
- 09:30～ C02 別所裕介 (広島大学)
「環境管理をめぐる中国の辺境統治と文化的主体性：牧畜チベット地域での開発プロジェクトを事例に」
- 10:00～ C03 玉城毅 (奈良県立大学)
「無禄士族と土地制度：前近代沖縄における村の流動性をめぐる歴史民俗誌」
- 10:30～ C04 宇田川飛鳥 (慶應義塾大学大学院 社会学研究科)
「漁場利用と干拓：韓国セマングム干拓海域をめぐる漁業者の抵抗と廃船事業」
- 11:00～ C05 清水貴夫 (名古屋大学大学院文学研究科)
「都市のはざまに揺れるイスラームと少年：ワガドゥグのタリベと「ストリート・チルドレン」の関連性について」
- 11:30～ C06 西田季里 (東京大学大学院総合文化研究科)
「子どもが場所に〈いる〉ということと他者関係：カンボジア・スラム再定住地区における、子どもと小路・大通り」
- 12:00～ C07 秋山裕之 (京都大学アフリカ地域研究資料センター)
「Child Care System としての親族体系：セントラル・サンにおける子どもの対人関係分析から」
- 12:30～ C08 梅津綾子 (名古屋大学大学院)
「育ての親による子どもの育て方：ナイジェリア北部地域における "里親養育"(リコ)を事例に」

11 日午前の部 D 会場 (58 年館 879 番教室)

- 09:00～ D01 大場千景 (総合研究大学院大学)
「無文字社会における歴史の技法：南エチオピア牧畜民ボラナの「口頭年代史」に見られる叙事詩に焦点をあてて」
- 09:30～ D02 大石高典 (京都大学)
「中部アフリカ熱帯林における農耕民＝狩猟採集民関係の多様化に関する考察：カメルーン東南部における漁撈農耕民バクウェレと狩猟採集民バカを事例に」
- 10:00～ D03 松浦直毅 (日本学術振興会／京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
「アフリカ先住民の歴史への多角的アプローチ：ガボン南部バボンゴ・ピグミーの定住化と民族関係の変容の過程」
- 10:30～ D04 北田綾 (早稲田大学 文学学術院 日本語日本文化 博士後期過程)
「ラオス南部チャンパサックの織り手の生活と環境適応：事例研究」
- 11:00～ D05 岡田菜穂子 (広島大学)
「布づくりから見た伝統工芸：バングラデシュにおけるジャムダニの事例より」
- 11:30～ D06 陳景揚 (東京大学大学院)
「「民藝」における環境論理：柳宗悦の思想と消費実践を中心に」
- 12:00～ D07 下田健太郎 (慶應義塾大学)
「水俣湾埋立地の石像物をめぐるライフストーリー：多声性の物質文化研究にむけて」
- 12:30～ D08 堀田あゆみ (総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻)
「モンゴルの遊牧社会におけるモノをめぐる情報戦」

11 日午前の部 E 会場 (55 年館 561 番教室)

- 09:00～ E01 **村尾るみこ** (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
「長期化した紛争によるザンビア農村社会への影響：アンゴラ移住民のウッドランド耕作を中心に」
- 09:30～ E02 **細谷広美** (成蹊大学)
「紛争後の平和構築とマイノリティ：移行期正義と補償を中心に」
- 10:00～ E03 **藤井真一** (大阪大学大学院人間科学研究科)
「なぜ中央政府に対してコンペンセーションを要求するのか：ソロモン諸島における伝統的な紛争解決行為に注目して」

11 日午前の部 F 会場 (55 年館 562 番教室)

- 09:30～ F02 **下茂英輔** (北海道大学大学院文学研究科)
「カナダにおける日本人移住者と日系コミュニティ：1967 年移民法改正後の展開から」
- 10:00～ F03 **加藤恵津子** (国際基督教大学)
「「エスニシティ」も「コミュニティ」も要らない？：バンクーバーの日本人移民志望者たちの「自己」の重みと喜び」
- 10:30～ F04 **小野真由美** (早稲田大学国際学術院)
「海外在留邦人社会におけるリタイヤメントコミュニティの生成：マレーシアの日本人退職移住者の事例から」
- 11:00～ F05 **金子正徳** (国立民族学博物館)
「「地域人」の形成：インドネシア・ランブン州の事例から」
- 11:30～ F06 **松井生子** (広島大学大学院総合科学研究科)
「カンボジアでベトナム人として生きること：国籍／市民権および「不当な」料金徴収をめぐる」
- 12:00～ F07 **小西公大** (東京大学東洋文化研究所)
「新たな<エスノスケープ>への階梯：タール沙漠のムスリム楽士たちのグローバル経験から」
- 12:30～ F08 **小林宏至** (首都大学東京大学院)
「漢族社会における民系の形成過程と祖先観の変遷」

11 日午前の部 G 会場 (55 年館 563 番教室)

- 09:30～ G02 **飯田淳子** (川崎医療福祉大学 医療福祉学部)
「「手当て」としての身体診察：日本の総合診療・家庭医療における医師・患者関係」
- 10:00～ G03 **松岡秀明** (淑徳大学国際コミュニケーション学部)
「生、死、ブリコラージュ：緩和ケア病棟で看護師が直面する困難」
- 10:30～ G04 **浜田明範** (日本学術振興会特別研究員 PD)
「ヘルスセンターにおける 2 つの確定化装置：ガーナ南部における診断とモノの布置」
- 11:00～ G05 **鈴木勝己** (早稲田大学人間科学学術院)
「エイズという社会的死：タイ・エイズホスピス寺院におけるケアの実践と病いの語り」
- 11:30～ G06 **淵上恭子** (元南山宗教文化研究所)
「代理出産の医療人類学的考察：韓国の「不妊治療」におけるリプロダクティブ・ヘルスと非医学的性選択」
- 12:00～ G07 **柘植あづみ** (明治学院大学)
「卵子を提供する理由」

- 12:30～ G08 島菌洋介（オックスフォード大学社会文化人類学研究所）
「移植臓器を受け入れる方法：腎移植にともなうレシピエントの身体像の変容にかんする医療人類学的考察」

11 日午前の部 H会場（58 年館 860 番教室）

- 09:00～ H01 小池郁子（京都大学人文科学研究所）
「想像／創造されたアフリカ性の時間：アフリカ系アメリカ人のオリシャ崇拝運動にみる社会空間の変容」
- 09:30～ H02 神本秀爾（京都大学大学院 人間・環境学研究科）
「神の民と国境：ジャマイカ、ラストファーマーライの帰還要求運動をめぐる一考察」
- 10:00～ H03 椿原敦子（大阪大学大学院 人間科学研究科）
「生起する未来：社会運動の人類学にむけて」
- 10:30～ H04 河西瑛里子（日本学術振興会（国立民族学博物館））
「聖地における癒しとコミュニティ：英国グラストンベリーを事例として」
- 11:00～ H05 菅瀬晶子（国立民族学博物館）
「パレスチナ・イスラエルにおけるアル・ハディル＝マール・エリヤス崇敬：民間信仰における、ユダヤ人市民とアラブ人市民の共存」
- 11:30～ H06 丹羽充（日本学術振興会特別研究員（DC2））
「ネパールのプロテスタントに見られる禁止の存在論：カトマンドゥ盆地ラリトプール地区の教会に見られる異教と呪術の排除」
- 12:00～ H07 深川宏樹（筑波大学大学院人文社会科学研究所）
「身体に発現する呪いと軋轢の解消：ニューギニア高地における「死に際の言葉」の事例から」
- 12:30～ H08 岡晋（国立民族学博物館）
「西南中国ナシ族の「ラツォダフ」についての一考察：宗教的職能者トンバの類別の一環として」

11 日午後の部 I会場（外濠校舎 S505 番教室）

- 15:30～ I11 吉江貴文（広島市立大学）
「近代ポリビアにおける文書管理実践とエスクリバーノ制度」
- 16:00～ I12 山口裕子（岡山県立大学・一橋大学社会学研究科特別研究員）
「現代インドネシア周辺社会における「歴史語りの対話空間」とその創造過程：複数の対抗的な「ブトン王国史」
- 16:30～ I13 楊海英（静岡大学）
「北狄で以て西戎を制す?: 1958 年のチベット人蜂起を鎮圧したモンゴル人騎馬部隊の記憶と記録」
- 17:00～ I14 神原ゆうこ（北九州市立大学）
「ローカルなコミュニティにおける「革命」の記憶と忘却：ポスト社会主義期におけるスロヴァキア村落の「民主主義」を手がかりとして」

11 日午後の部 J会場（外濠校舎 S405 番教室）

- 15:30～ J11 丹羽朋子（東京大学大学院総合文化研究科）
「線で描かれる中国陝北の農民たち：ある「農民画家」の芸術実践にみる、もの・身体・場所の相互作用」

- 16:00～ J12 山口睦（東北大学東北アジア研究センター）
「観光土産としての中国農民画：日本人による「ふるさとイメージ」の受容」
- 16:30～ J13 太田好信（九州大学・比較社会文化研究院）
「ジャン・シャルロー（Jean Charlot）とミメシス：転置、言語と芸術を結びつけるための創造力」
- 17:00～ J14 横田吉昭（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）
「トルコ共和国創生期の漫画キャラクターはなぜ太っていたか：国民国家の道化が表象する近代と伝統の両義性」

11 日午後の部 K会場（外濠校舎 S406 番教室）

- 15:30～ K11 左地(野呂)亮子（筑波大学大学院人文社会科学研究所）
「人を包み、位置づけるモノ：フランス南西部に暮らす移動生活者マヌーシュのキャラヴァン」
- 16:00～ K12 岩谷彩子（広島大学）
「ディアスポラになりきれない人々：「ロマ／ジプシー」が分有する起源と共同体の現在」
- 16:30～ K13 寺崎陽子（一橋大学大学院）
「国立公園と「自然」の価値：米国国立公園局の制度化をめぐる」
- 17:00～ K14 長坂契那（慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程）
「「公式」旅行ガイドブックに見る大正初期の外客誘致戦略：鉄道院 An Official Guide to Eastern Asia vol.1-5(1913-1917)を事例に」

11 日午後の部 L会場（外濠後者 S407 番教室）

- 15:30～ L11 渡部瑞希（一橋大学社会学研究科）
「バザール経済における情報の非対称性と顧客関係の維持：カトマンズの観光市場における宝飾商売の事例から」
- 16:00～ L12 岡本年正（東京大学大学院総合文化研究科）
「市場経済における貨幣を介した意思変化：アンデスの民間信仰におけるクランデーロの事例から」
- 16:30～ L13 辛嶋博善（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
「ポスト社会主義下のモンゴル国における牧畜民による生産物の取引：モンゴル国ヘンタイー県ムルン郡の事例」
- 17:00～ L14 小川さやか（国立民族学博物館）
「モードを生み出す「ネズミの道」：東アフリカ諸国間交易によるナショナル／エスニックな流行の創出」

12 日午前の部 K会場（外濠校舎 S406 番教室）

- 09:00～ K21 山本達也（京都大学文学研究科）
「伝統文化を「見せる」：北インド・ダラムサラ在住チベット難民芸能集団のメディア活用の試み」
- 09:30～ K22 松嶋健（京都大学）
「アクターからパフォーマーへ：イタリアの地域精神保健と演劇人類学の出会いから」
- 10:00～ K23 松川恭子（奈良大学）
「舞台を介した故郷とのつながり：インド・ゴア社会、ティヤトル劇の複数メディアによる展開」
- 10:30～ K24 杉本洋（新潟医療福祉大学）
「表現する生存者の「恥」の扱い：病気をパフォーマンスする活動にみる実践」

- 11:00～ K25 梶丸岳（日本学術振興会、京都大学）
「遊びとしてのオラリティ：中国貴州省の漢歌を事例に」
- 11:30～ K26 松田有紀子（立命館大学）
「お茶屋遊びのコスモロジー：実践共同体としての京都花街」

12 日午前の部 L会場（外濠校舎 S407 番教室）

- 09:00～ L21 兼重努（滋賀医科大学）
「行政区画と少数民族：西南中国トン族の事例から」
- 09:30～ L22 伊藤雅俊（日本大学大学院国際関係研究科）
「交友関係にみるスマトラ北部の日系インドネシア人社会：1世から次世代に引き継がれた絆」
- 10:00～ L23 平井芽阿里（京都大学大学院文学研究科）
「愛知県在住の沖縄県出身者と故郷との宗教的連帯について」
- 10:30～ L24 岩田剛（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
「インドネシア、ブギス・マカッサル社会におけるネットワーク形成の一考察：「シリ」の概念を事例として」
- 11:00～ L25 高橋絵里香（日本学術振興会）
「政策としての全体論：地域福祉をめぐる〈実践人類学〉再考」

12 日午前の部 N会場（外濠校舎 S306 教室）

- 09:00～ N21 中村香子（京都大学アフリカ地域研究資料センター）
「「伝統」のダイナミズム：ケニアのサンプル社会における「戦士（モラン）」を事例に」
- 09:30～ N22 湖中真哉（静岡県立大学・国際関係学部）
「ポスト・グローバリゼーション期への人類学的射程：ケニア・サンプルランド西端紛争の事例」
- 10:00～ N23 橋本栄莉（一橋大学大学院社会学研究科）
「「神話」としての「民主化」を生きる：南部スーダン、ヌエル人の重層的な歴史観をめぐって」
- 10:30～ N24 吉田早悠里（名古屋大学大学院）
「被差別マイノリティによる「民族」の主張：エチオピア南西部に暮らすマンジョの請願活動と政府決議」
- 11:00～ N25 飛内悠子（上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科）
「スーダン共和国におけるクク人の「再統合」：ハルツーム在住者を中心にして」

12 日午前の部 O会場（外濠校舎 S307 番教室）

- 09:00～ O21 岸上伸啓（国立民族学博物館／総合研究大学院大学）
「米国アラスカにおけるイヌピアットの先住民生存捕鯨」
- 09:30～ O22 池谷和信（国立民族学博物館／総合研究大学院大学）
「ロシアにおけるチュクチの先住民生存捕鯨」
- 10:00～ O23 浜口尚（園田学園女子大学短期大学部）
「セントヴィンセントおよびグレナディーン諸島国ベクウェイ島における先住民生存捕鯨：「先住民生存捕鯨」と「商業捕鯨」の相克を超えて」
- 10:30～ O24 中川理（大阪大学）
「グローバリゼーションとパトロネージ：フランスの農民・労働者関係から」
- 11:00～ O25 加藤敦典（日本学術振興会特別研究員PD（南山大学））
「あたかもひとりの農民のように：ベトナムの地方幹部の権威を支える「近さ」について」

11:30～ O26 名和克郎（東京大学東洋文化研究所）
「政治」と「集まり」の間：体制変換期ネパールにおけるランの「公的」な語りの諸相」

12日午前の部 P会場（外濠校舎 S205 番教室）映像作品上映
プログラムは別の記載となっております。

12日午前の部 Q会場（富士見坂校舎 F309 番教室）

09:00～ Q21 箕曲在弘（早稲田大学大学院 文学研究科）
「市民社会」の萌芽：ラオス南部におけるフェアトレード生産協同組合の社会関係に関する一考察」

09:30～ Q22 玉置真紀子（明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程）
「マイクロファイナンス機関の持続可能性：フィリピンのふたつの事例より」

10:00～ Q23 関口由彦（成城大学民俗学研究所）
「日常的な多文化共生とアイヌ民族：運動と生活のあわいから」

10:30～ Q24 江戸淳子（杏林大学外国語学部）
「真正な行為」としての慣習的行為：ニューカレドニアにみる慣習的口頭協議記録の法制化からの一考察」

11:00～ Q25 角南聡一郎（財団法人 元興寺文化財研究所）
「記憶の流用・マイノリティー・アイデンティティの再生産：台湾東部における展示施設と土産物に注目して」

11:30～ Q26 加藤裕美（日本学術振興会）
「マレーシアにおける狩猟採集民の都市化と遊動生活の連続性」

12日午前の部 R会場（富士見坂校舎 F310 番教室）

09:30～ R22 吉田佳世（首都大学東京大学院人文科学研究科博士後期課程）
「墓に属さない女性たちから生みだされる帰属意識：沖縄本島北部地域における離婚と再婚を経験した女性たちの死後の処遇に着目して」

10:00～ R23 櫻田涼子（京都大学）
「空間が作る社会関係：マレーシアと中国の「婚房」と女性の身体を事例として」

10:30～ R24 黄 蘊（関西大学）
「マレーシアにおける上座仏教の現地化と華人信者」

11:00～ R25 小西賢吾（学術振興会／京都大学地域研究統合情報センター）
「仏塔に「生活」を投入する：現代中国のチベット社会における伝統宗教の求心力をめぐる」

11:30～ R26 飯塚真弓（京都大学大学院 人間・環境学研究科）
「南インド・チダンバラムの神々：空間構造、神話、宗教実践の視点から」

12日午後の部 K会場（外濠校舎 S406 番教室）

14:15～ K31 中岡志保（広島大学大学院）
「花柳界の待合空間における親密性の変容：『阿部定事件』当時と現代の待合を事例として」

14:45～ K32 萩原卓也（京都大学大学院 人間・環境学研究科）
「スポーツにおけるリスク文化とエンパワーメントの再考：女子プロレスラーの痛みの経験から」

15:15～ K33 木曾恵子（東北大学）
「家内領域の再検討：東北タイ農村女性の移動労働と子（孫）育て」

- 15:45～ K34 **新本万里子**（広島大学大学院）
「姻族間における女性の位置の変化：パプアニューギニア、アベラム社会における婚資の
支払いと初潮儀礼の分析より」
- 16:15～ K35 **馬場淳**（日本学術振興会）
「パプアニューギニアにおける反 DV 法制の成立と問題」

12 日午後の部 L 会場（外濠校舎 S407 番教室）

- 14:15～ L31 **窪田幸子**（神戸大学大学院国際文化学研究科）
「先住民アイデンティティをめぐる諸問題：先住民言説の広がり」とローカルな交渉」
- 14:45～ L32 **栗田梨津子**（広島大学大学院総合科学研究科）
「「ブラックフェラウェイ」 アボリジニ独自の行動様式：オーストラリアの都市先住民
による相互扶助に関する語りと実践を事例に」
- 15:15～ L33 **友永雄吾**（国立民族学博物館）
「オーストラリア南東部先住民によるネットワーク型社会の環境運動：マレー河流域の先
住民ヨルタ・ヨルタの先住民運動を事例に」
- 15:45～ L34 **福西加代子**（京都大学大学院人間・環境学研究科）
「戦争・平和を展示する：日本と韓国の博物館に関する比較研究」
- 16:15～ L35 **吉本裕子**（横浜国立大学）
「博物館の展示制作に協同作業は必要か？：アイヌ文化の展示を事例として」

12 日午後の部 N 会場（外濠校舎 S306 番教室）

- 14:15～ N31 **外川昌彦**（広島大学・大学院国際協力研究科）
「開発を評価する人類学：DAC 5 項目と民族誌」
- 14:45～ N32 **関恒樹**（広島大学大学院国際協力研究科）
「環境統治と主体：フィリピンにおけるネオリベラルな資源管理と生活実践」
- 15:15～ N33 **上村明**（東京外国語大学）
「モンゴル国の牧畜における資源利用と開発援助」
- 15:45～ N34 **権允義**（大阪大学大学院）
「生産財から環境財へ：日本の山村地域における FSC 認定材をめぐるエコ・ポリティッ
クス」
- 16:15～ N35 **齋藤典子**（名古屋大学大学院 文学研究科）
「伊豆海村の高齢者労働が示唆するもの：ローカルコモンズの利用と互助互酬にみる利益
の再分配ネットワーク」

12 日午後の部 O 会場（外濠校舎 S307 番教室）

- 14:15～ O31 **奈良雅史**（筑波大学人文社会科学部研究科）
「イスラーム教育を巡るポリティクス：中国雲南省における回族社会を事例として」
- 14:45～ O32 **今中崇文**（総合研究大学院大学 文化科学研究科 地域文化学専攻 博士課程）
「囲い込まれる宗教指導者たち：中国・西安市の清真寺における事例から」
- 15:15～ O33 **金龍哲**（神奈川県立保健福祉大学）
「「秩序再現の場」としての成年儀礼：一ヤオ族の度戒の教育学的考察一」
- 15:45～ O34 **浅川泰宏**（埼玉県立大学）
「巡礼路再生運動における宗教民俗の組み替え：牟岐町お接待の会を事例として」
- 16:15～ O35 **前川智子**（筑波大学大学院人文社会科学部研究科歴史・人類学専攻）
「領域と歓待：土浦八坂神社祇園祭を事例として」

12 日午後の部 P 会場 (外濠校舎 S205 番教室)

プログラムは別の記載となっております。

12 日午後の部 Q 会場 (富士見坂校舎 F309 番教室)

- 14:15～ Q31 **本田洋** (東京大学大学院人文社会系研究科)
「都市からの離脱, 競争からの離脱: 韓国南西内陸山間部山内地域の「帰農」」
- 14:45～ Q32 **山内熱人** (京都大学大学院 人間・環境学研究科)
「近代化する先住民農村における日常生活及び祝祭の変化と維持: メキシコ、オアハカ州の村落の事例より」
- 15:15～ Q33 **永田貴聖** (神戸市外国語大学)
「在日フィリピン人の社会関係研究への調査方法論に関する一試論」
- 15:45～ Q34 **西谷真希子** (ラトローブ大学)
「送金することと継続するカヴェンガの意義: オーストラリア、メルボルン在住のトンガ人女性を事例に」

12 日午後の部 R 会場 (富士見坂校舎 F310 番教室)

- 14:15～ R31 **小林正史** (北陸学院大学)
「東北タイ・ラオスにおける主食のモチ米とオカズ調理の結びつき」
- 14:45～ R32 **山口未花子** (東北大学 東北アジア研究センター)
「カナダ先住民カスカの動物食文化: 」
- 15:15～ R33 **八塚春名** (京都大学アフリカ地域研究資料センター)
「ニセゴマ (*Ceratotheca sesamoides*) がつなぐ社会: タンザニアのサンダウェ社会における半栽培植物の利用・採集・分配」

映像作品上映

12 日 P 会場 (外濠校舎 S205 番教室)

- 09:35～ Pf1 **窪田暁** (総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻)
「野球の血: ドミニカ共和国の路上から」(15分)
- 10:00～ Pf2 **伊藤悟** (総合研究大学院大学 文化科学研究科)
「2008年シャンヤー芸術団日本旅行の記録」(25分)
- 10:35～ Pf3 **堀田あゆみ** (総合研究大学院大学文化科学研究科)
「よく死んだよ、今年は: 2010年モンゴルのゾド」(15分)
- 11:00～ Pf4 **長島節五** (日本映像民俗学の会)
「手術用鉗の製作記録: 日本の医療機器製作現場の危機」(50分)
- 14:30～ Pf5 **田沼幸子** (大阪大学人間科学研究科)
「Cuba Sentimental」(59分)
- 15:40～ Pf6 **窪田暁** (総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻)
「野球の血: ドミニカ共和国の路上から」(15分)
- 16:05～ Pf7 **伊藤悟** (総合研究大学院大学 文化科学研究科)
「2008年シャンヤー芸術団日本旅行の記録」(25分)
- 16:40～ Pf8 **堀田あゆみ** (総合研究大学院大学文化科学研究科)
「よく死んだよ、今年は: 2010年モンゴルのゾド」(15分)

日本文化人類学会 第45回研究大会 記念シンポジウム

「近代の〈日本意識〉の成立への日本民俗学・民族学の貢献 そのⅡ —終戦から昭和40年代まで—」

「近代の〈日本意識〉の成立への日本民俗学・民族学の貢献 そのⅡ —終戦から昭和40年代まで—」

6月10日（金曜日）法政大学ポアソナードタワー 26階 A会議室

【プログラム】

17:00—17:10 ご挨拶 安孫子信（法政大学国際日本学研究所所長）

17:10—18:00 Harumi Befu（スタンフォード大学名誉教授）

『『文明の生態史観』を通じてみた梅棹忠夫の業績』

18:10—19:00 川田順造（神奈川大学特別招聘教授）

「1950～60年代東京大学での総合人類学教育」

法政大学国際日本学研究所は、国際的・学際的視点での「異文化としての日本文化研究」をキーコンセプトとして研究を行っております。「〈日本意識〉の再検討」は昨年度からの研究課題で、4つの研究会を構成し研究を展開中です。その中で「近代の〈日本意識〉の成立に日本民俗学・民族学がいかに関与したか」というテーマを扱うのが本研究会（アプローチ②、代表：ヨーゼフ・クライナー）で、国内外、学内外あわせて約20名の研究者が集まり、昨年度は戦前の民俗学・民族学研究を検討し、その成果で昨年12月にシンポジウムを行い、近く報告書も出版の予定です。本年度は、終戦から昭和40年代までを扱います。

主催：法政大学国際日本学研究所（戦略的研究基盤形成支援事業「国際日本学の方法に基づく〈日本意識〉の再検討—〈日本意識〉の過去・現在・未来 アプローチ②」）

後援：日本文化人類学会

*この記念シンポジウムは、法政大学市ヶ谷キャンパスでの研究大会開催を記念して、本学でも学会に関連の深い国際日本学研究所が主催する催しです。

発表者一覧表

11日(土曜日)

会場	BT会議室A/B	A(55・571)	B(55・572)	C(58・878B)	D(58・879)	E(55・561)	F(55・562)	G(55・563)	H(58・860)	
9:00～	総務会		脇田道子	尾崎孝宏	大場千景	村尾るみこ			小池郁子	
9:30～			伊藤渚	別所裕介	大石高典	細谷広美	下茂英輔	飯田淳子	神本秀爾	
10:00～	理事会	分科会A	宮脇千絵	玉城毅	松浦直毅	藤井真一	加藤恵津子	松岡秀明	椿原敦子	
10:30～		上杉妙子/福浦厚子/金柄徹/森田真也/エイムズC/コメ:田中雅一 河野仁	分科会B 大川	宇田川飛鳥	北田綾	分科会E 杉山祐子/曾我亨/金子守恵/佐治靖/竹川大介/コメ:野村雅一 大村敬一	小野真由美	浜田明範	河西瑛里子	
11:00～	評議員会		真由子/奈倉京子/市川哲/飯島真里子/コメ:和崎春日	清水貴夫	岡田菜穂子		金子正徳	鈴木勝己	菅瀬晶子	
11:30～				西田季里	陳景揚		松井生子	淵上恭子	丹羽充	
12:00～				秋山裕之	下田健太郎		小西公大	柘植あづみ	深川宏樹	
12:30～				梅津綾子	堀田あゆみ		小林宏至	島蘭洋介	岡晋	
12:55～ ～14:00		昼休み								
14:00～ ～15:15	総会(外濠校舎6F7F薩埵ホール)									
会場	I(S505)	J(S405)	K(S406)	L(S407)						
15:30～	吉江貴文	丹羽朋子	左地(野呂)亮子	渡部瑞希						
16:00～	山口裕子	山口睦	岩谷彩子	岡本年正						
16:30～	楊海英	太田好信	寺崎陽子	辛嶋博善						
17:00～	神原ゆうこ	横田吉昭	長坂契那	小川さやか						
18:00～ ～20:00	懇親会(外濠校舎6F薩埵ホール)									

12日(日曜日)

会場	I(S505)	J(S405)	K(S406)	L(S407)	M(S305)	N(S306)	O(S307)	P(S205)	Q(F309)	R(F310)
9:00～	分科会Ia	分科会Ja	山本達也	兼重努	分科会Ma 上水	中村香子	岸上伸啓		箕曲在弘	
9:30～	亀井伸孝/清末愛	田川玄/吉田匡興/西本太/花	松嶋健	伊藤雅俊	流久彦/西村一之	湖中真哉	池谷和信	映像上映 窪田暁/伊藤悟 /堀田あゆみ /長島節五	玉置真紀子	吉田佳世
10:00～	砂/飯嶋秀治/小國和子/浅野史代/清水展	渕馨也/奥野克巳/池田光穂/コメ:内堀基光	松川恭子	平井芽阿里	/宮岡真央子/村上和弘/中村八重	橋本茉莉	浜口尚		関口由彦	櫻田涼子
10:30～			杉本洋	岩田剛		吉田早悠里	中川理		江戸淳子	黄 蘊
11:00～			梶丸岳	高橋絵里香	/越智郁乃/コメ: 森田真也	飛内悠子	加藤敦典		角南聡一郎	小西賢吾
11:30～			松田有紀子		渋谷努		名和克郎		加藤裕美	飯塚真弓
11:55～ ～13:00	昼休み									
13:00～ ～14:00	日本文化人類学会賞・学会奨励賞授賞式および学会賞受賞者講演(外濠校舎S205)									
14:15～	分科会Ib 山口徹/中田聡史/茅根創/吉田俊爾/棚橋訓/深山直子/山野博哉/コメ:風間計博	分科会Jb 桑山敬己/中西裕二/山崎幸治/李仁子/コメ:岡田浩樹	中岡志保	窪田幸子	分科会Mb	外川昌彦	奈良雅史	映像上映 田沼幸子/窪田暁/伊藤悟堀田あゆみ	本田洋	小林正史
14:45～			萩原卓也	栗田梨津子	内藤直樹/丸山淳子/山北輝裕/岩子/山北輝裕/岩子/山北輝裕/岩子	関恒樹	今中崇文		山内熱人	山口未花子
15:15～			木曾恵子	友永雄吾	佐光広/コメ:飯嶋秀治	上村明	金龍哲		永田貴聖	八塚春名
15:45～			新本万里子	福西加代子		権允義	浅川泰宏		西谷真希子	
16:15～			馬場淳	吉本裕子		齋藤典子	前川智子			

開催場所・施設の概要

法政大学作成の地図は、どういうわけかダウンアンダー方式で北が下となっており、間違えやすいのでご注意ください。

法政大学市ヶ谷キャンパスは、土曜日に授業が行われております関係で、皆様には若干の不便をおかけすることになります。

まず、11日土曜日の午前中（実際には12:55まで）の会場は、55年館・58年館の6F、7Fとなります。受付は、58年館の1F、エレベーターホール付近となります。55年館・58年館はつながっており、全くひとつの校舎であるかのようになっておりますので、どちらのエレベーターからあがっても行くことができます。教室番号の最初の一桁が5であれば55年館、8であれば58年館、まん中の桁が階の番号となっております。例えば、571番教室は55年館の7階にあります。

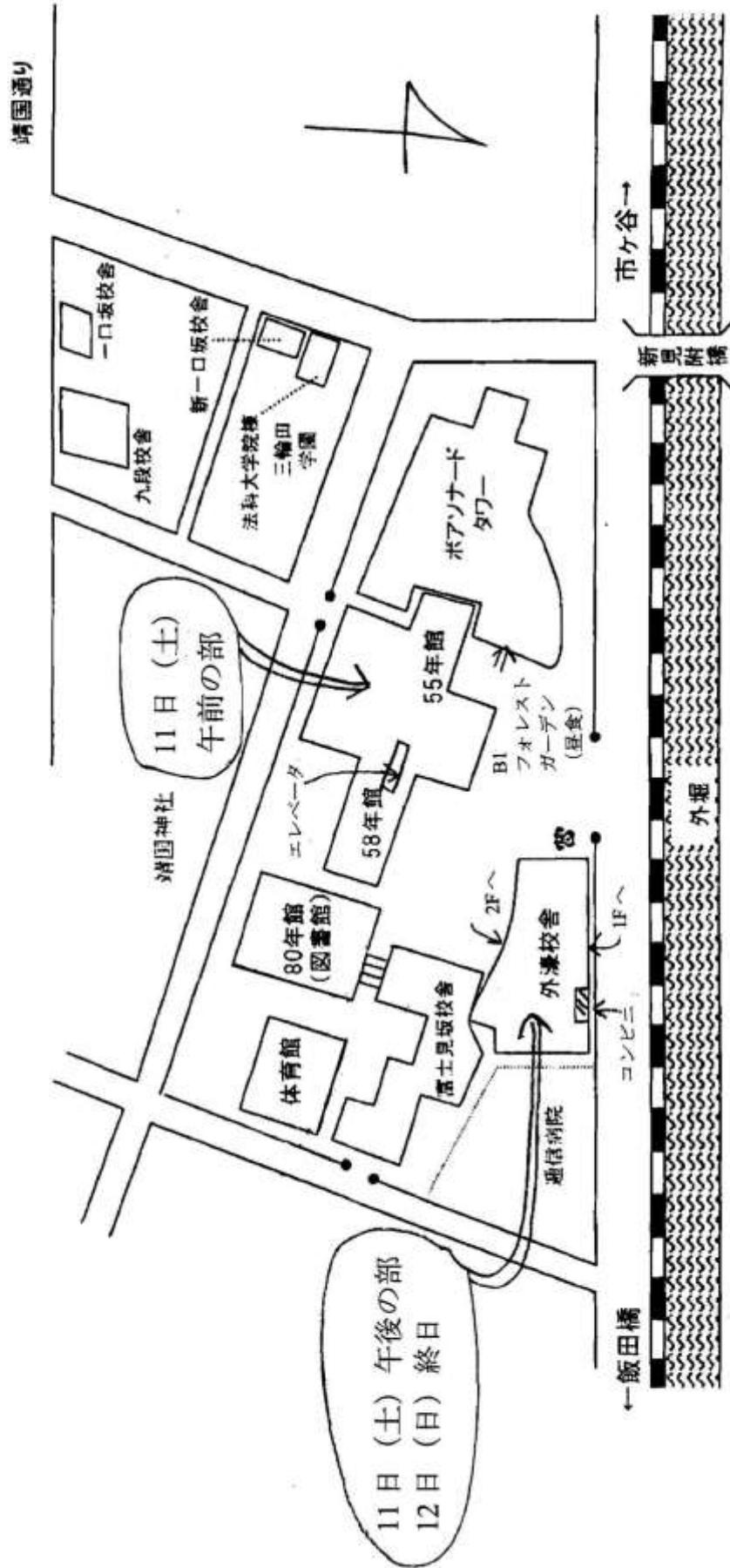
13:30頃に受付、本部ともに、向かい側の外濠校舎^{そとぼり}3Fに移動します。外濠校舎は58年館の側から入ると2F、正面から入ると1Fとなっております。受付は3Fのピロティ、本部も同階です。書籍の展示は4Fの小教室（S401, S402, S403, S404）で行われます。14:00～15:15まで総会（薩捶^{きつた}ホール（予定）6F、7F）、その後、4F、5Fで研究発表が行われます。懇親会は薩捶ホール（予定）で6Fから入場をお願いします。場合によっては総会と懇親会の場所が学内の別の施設に移る可能性があります、そのときにはまた変更をご案内いたします。

12日（日）の午前中からの発表は、外濠校舎2F～5F、および、富士見坂校舎3Fの計9教室で、映像作品の上映が残る1教室で行われます。富士見坂校舎の教室には外濠校舎4Fから渡り廊下でつながっておりますので、これをご利用ください。

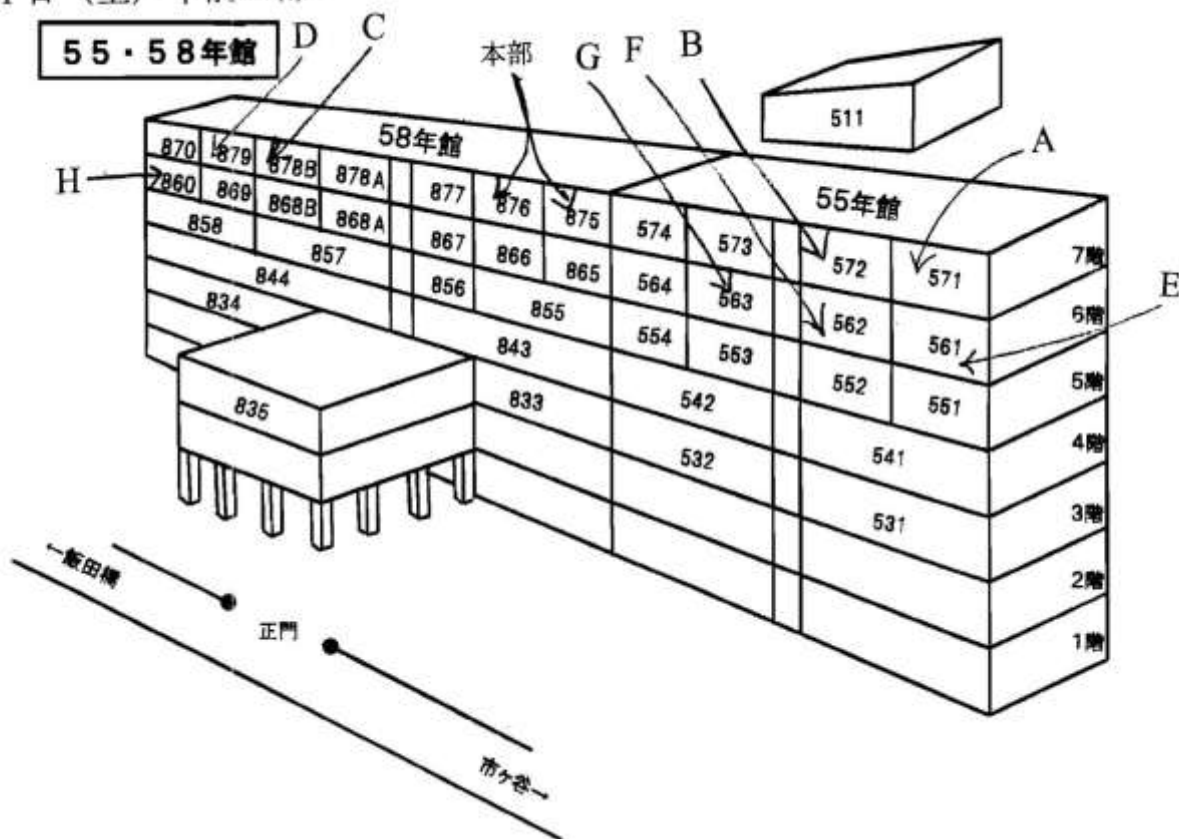
移動する都合もあり、11日午前中には休憩所を設けません。ご理解のほどよろしく申し上げます。同じ建物の1階には学生用の休憩施設があり、売店もあります。ボアソナードタワー1Fには、自動販売機が多数あり、また外濠校舎1Fには、コンビニもあります。11日午後、12日には、休憩室は設けませんが、3Fと4Fのピロティに茶果を用意しますので、ご利用ください。ピロティには、皆様がお休みになるテーブルと椅子が十分な数あります。

昼食は、ボアソナードタワーB1のフォレストガーデンをご利用ください。12日も開店の予定となっております。11日（土）は学外周辺のレストラン等で食事ができますが、12日（日）は限られた場所しかありません。お弁当は特に手配しませんのでよろしくご願ひいたします。

市ヶ谷キャンパス案内図



11日(土) 午前の部



外濠校舎

11日(土) 午後の部
12日(日) 終日

